



# S氏の冒険日記 3

---

笑ってはいけない状況での  
購読は避けて下さい。

---

香亭 咲

---

## 第6話 「ぐえ～っ！！！！」の巻き

ある日、総務のFさんの依頼で、このビルの非常時の救助訓練があるので、出てくれないかとの事。

忙しいと断ると、

「男の人じゃないと駄目なんだって・・・しかも2人。いろんな人に声かけたんだけど、皆んなスケジュール一杯だって断られてさ・・・

お願い！こういうの引き受けてくれるの山根さんしか居ないの・・・」

などと頼まれてしまって、後で出てみたら8割が女の子だったんで、

思い切りだまされちゃったんだけど・・・

問題はこの時、私以外の暇な人物

(いや・・・私は忙しいですよ・・・?)

という点にピンと来なかった自分に後で後悔する訳で・・・

時間になって「もう一人って誰？」とFさんに聞くと、S島さんというではありませんか・・・

うそ?! そりゃね～だろ いくらなんでもと言ったところで

もう代わってくれる人は居ません。

エレベーター前で、

「何でお前とこんなの出なきゃいけないんだよ？」

と、S氏にぼやいてももう後の祭で・・・

(S氏は「そんな・・・僕に言われても・・・」とにこにこしていましたが・・・)

会場はたまたまテナントが引越したばかりの開き部屋で、

40畳はあろうかというスペースに、市のレスキュー隊員とおぼしき人が

3名ほどスタンバイして、救急処置練習用の人形が4体、置かれていました。

隊員の説明が10分程あって、それでは実際にやって見せると模範演技が始まり、

もしも大丈夫ですか?と意識の確認に始まり、気道の確保・心臓マッサージ・

マウスツウマウスと進んでいきます。

もしも大丈夫ですか?は恥ずかしがらずに大きい声でやって下さいね。

これ大事ですよ?などと言われながら

ふんふん・・・そうだよな・・・などと思いつつ、あれ? まてよ・・・これって・・・

さあ! それでは交代交代で練習しましょう!と言われた時に

(やっばそうじゃん・・・これってS氏と間接キスじゃん。冗談じゃないよ・・・

聞いてね～もの! おいおい・・・そりゃずいぶんじゃん・・・

よりによってそれは無いんじゃないの??)

「さあ! 始めましょう!」

という声に、頭の中のダチョウ倶楽部状態もかき消され、

これは迷っている場合じゃないとばかり、緊急時のスクランブル発進のように、

(せめて俺が最初で、次がS。Sの後という最悪の事態だけは避けねば!)

と、練習用の人形にいどみました。

「もしも! 大丈夫ですか?!」

と大声を出すと、

「いいですね。気合が入ってますね。」

と、レスキュー隊員からお褒めの言葉・・・

何で気合が入っているように見えるのか隊員さんには解からないとは思いますが・・・

模範演技をまねて、他の人より早めに訓練を終えると、一応は消毒の為に用意された

オキシフル入りガーゼ(これが無かったら死んでた)で、

しつこいぐらいに人形の口を拭きました。

私の様子を見ていた隊員からOKが出たので、S氏と交代する事に・・

S氏がマウスツウマウスを始めるとやっぱり気持ちのいいものではありません。

でも怖いものみさで目が釘付けになっているとなぜか

「チュウ！」と変な音がするではありませんか・・???